

関東学院大学が新学部「経営学部」を開設へ

関東学院大学（横浜市）は、2017年4月に新学部「経営学部」を開設する計画だ。入学定員は333人を予定。

教育面では、この新学部を支援するサポーター企業のネットワーク「K-biz」を構築し、実際の企業の現場の視点を大きく取り入れた教育を推進。東証一部に上場する企業から地域企業まで、さまざまな業種から10社程度の参画を予定しているという。グループワークを中心として、社会的な課題をビジネスの視点から解決するための企画・計画を立案し提案にまとめていく「ビジネスプラン」と、2年次からはじまる徹底した少人数制の「専門ゼミナール」を柱とした教育を展開する。

お茶の水女子大学が新型AO入試を秋に実施

お茶の水女子大学（東京都文京区）は、現行のAO入試を大きく変えた新しい入試「新フンボルト入試」を始める。

試験は、一次選考を兼ねるプレゼミナールと二次試験を各々2日かけて行う。まずプレゼミナールでAO受験者は大学の授業を体験し、そこでのミニレポートや他の調査書、志望理由・活動報告書などの提出書類を評価。二次選考では、文系は附属図書館で文献や資料を駆使しつつ自分の論を練り上げ、またグループ討論や面接を通じて論理力や課題探求力、独創性などを評価（図書館入試）。理系は、各学科の専門性に即した実験や実験演示、データの分析等の課題を課したり、高校での学びを活かした課題研究発表などを行い、探求する力を見る（実験室入試）。

受け入れ学部は、文教育学部（人文科学科、言語文化学科、人間社会科学科※各学科ともグローバル文化学環を含む）、理学部（数学科、物理学科、化学科、生物学科、情報科学科）、生活科学部（食物栄養学科、人間・環境科学科、人間生活学科）。募集人数は全学で20人以内。選考日程は出願期間が2016年9月上旬。プレゼミナール（一次選考）が2016年9月24日（土）・25日（日）。二次選考：2016年10月15日（土）・16日（日）。合格発表：2016年10月下旬。出願資格や要件など詳細はお茶の水女子大学のホームページなどで確認を。

久留米大学が2017年4月に「人間健康学部」(仮称)を設立予定

久留米大学（福岡県久留米市）は2017年4月に新学部「人間健康学部」(仮称)を設置する計画を進めている。幼稚園教諭や保育士などを養成する「総合子ども学科」(仮称)と、保健体育教諭やアスレティックトレーナーなどを育成する「スポーツ医科学科」(仮称)を新設予定。

総合子ども学科の入学定員は50人。取得できる資格は、幼稚園教諭一種免許、保育士資格、社会福祉主事任用資格、児童厚生一級指導員資格、レクリエーションインストラクター、小学校教諭一種免許状（通信教育課程併修）を想定している。

スポーツ医科学科の入学定員は70人。取得可能な資格は、中学校・高等学校教諭一種免許（保健体育）、アスレティックトレーナー受験資格、トレーニング指導者受験資格、健康運動指導士受験資格、中級障がい者スポーツ指導員、アシスタントマネージャー受験資格を想定している。

東京女子大学が新しい入試制度を導入

東京女子大学（東京都杉並区）は、新しい入学試験制度「知のかけはし入試」を実施する。書類審査と講義・小論文・面接等による審査で可否を判定。合格者は、希望すれば、返還不要の「挑戦する知性」奨学金または学寮経費の一部が4年間授与される。

2017年度入試から実施する。募集人員は20名（人文学科8名、国際社会学科5名、人間科学科5名、数理科学科2名）。対象となるのは、第一志望で入学を確約できる現役生。成績の条件は、3年1学期(二期制の場合は3年前期)までの全体の評定平均値が3.7以上。

試験日程は、第1次選考が2016年10月下旬(予定)、第2次選考が11月(予定)。選考方法は、第1次選考が書類審査で、第2次選考が第1次選考合格者のみを対象に実施する講義・小論文・面接等。発表は11月(予定)。

基礎的な外国語能力を測るために、第三者機関が実施する語学能力試験（外部試験）等を活用するという。入試および奨学金の詳細については入試要項（2016年6月公開予定）で確認してほしい。

大学の就職内定率が前年比1.1ポイント増

文部科学省と厚生労働省は、2015年度（平成27年度）の大学等卒業予定者に対する就職内定状況について調査（2月1日現在）し、結果を発表した。大学等の就職内定率は、大学（学部）は87.8%（前年同期比1.1ポイント増）、短期大学は86.0%（同7.9ポイント増）、大学等（大学、短期大学、高等専門学校）全体では88.2%（同1.7ポイント増）、また専修学校（専門課程）を含めると87.9%（同2.4ポイント増）だった。

【調査結果の主な概要】

- ・大学の就職内定率は87.8%（前年同期比1.1ポイント増）。このうち国公立大学の就職内定率は89.6%（同0.3ポイント増）、私立大学は87.3%（同1.5ポイント増）。
- ・短期大学の就職内定率は、86.0%（前年同期比7.9ポイント増）。
- ・専修学校（専門課程）の就職内定率は、84.5%（同7.4ポイント増）。
- ・男子大学生の就職内定率は86.5%（前年同期比1.2ポイント増）、女子は89.3%（同1.0ポイント増）。また、国公立大学では、男子：86.4%、女子：92.9%。私立大学では、男子：86.6%、女子：88.1%。
- ・文系の就職内定率は87.3%（前年同期比1.1ポイント増）、理系の就職内定率は90.2%（同1.5ポイント増）。

立教大学が2017年度の入試よりWeb出願・入学手続を開始

立教大学（東京都豊島区）は2017年度の入学試験（一般入試・センター試験利用入試）より、Web出願・入学手続をスタートする。これまでの紙による出願を全面的に廃止すること。

志願者は入試要項（願書）の購入や取り寄せが不要となり、無料でいつでもダウンロードできるようになる。パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレットからの出願もできるようにする。

選考料もクレジットカードやATM、コンビニエンスストア等から支払いが可能になる。合格した受験生が入学手続きをするときも、出願時に入力した志願情報が引き継がれるため、再入力をする手間が大幅に軽減される。

新テストの最終報告案が提出される

大学入学希望者学力評価テスト（仮称）、いわゆる「新テスト」について議論をしている「高大接続システム改革会議」（第14回）が、3月25日に文部科学省で開催された。「最終報告（案）」についての資料も提出されて、テストの対象となる教科・科目に関わる部分は以下の通り（抜粋）に記されている。

【現行学習指導要領下での基本的枠組み】

〈地理歴史、公民〉

歴史系科目においては、歴史的思考力等に関する判定機能を強化する。単なる暗記などによる個別具体的な知識の量や細かな知識の有無により判定することがないよう出題の仕方を工夫する。

〈数学、理科〉

事象の中から本質的な情報を見だし、構造化し、解決する力など、思考力・判断力・表現力を構成する諸能力に関する判定機能を強化する。

〈国語〉

言語を手掛かりとしながら、与えられた情報を多角的な視点から解釈して自分の考えを形成し、目的や場面等に応じた文章を書くなど、知識・技能に関する判定機能に加え、思考力・判断力・表現力を構成する諸能力に関する判定機能を強化する。

〈英語〉

「書くこと」や「話すこと」を含む四技能を重視して評価する。また、民間との連携の在り方を検討する。

〈マークシート式問題の改善〉

- ・問題に取り組むプロセスにも解答者の判断を要する部分が含まれるよう工夫
- ・複数のテキストや資料を提示し、必要な情報を組み合わせ思考・判断させる
- ・分野の異なる複数の文章の深い内容を比較検討させる
- ・学んだ内容を日常生活と結びつけて考えさせる
- ・他の教科・科目や社会との関わりを意識した内容を取り入れる
- ・正解が一つに限られない問題とする
- ・選択式でありながら複数の段階にわたる判断を要する問題とする
- ・正解を選択肢の中から選ばせるのではなく必要な数値や記号等をマークさせる